

## 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。ご家族皆様お揃いで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。さて、親の会は昭和44年12月設立し、今年で40周年になります。時の流れは速いもので、その当時の知的障害者を精神薄弱者と呼び、深谷市内には障害者を受け入れる施設も無く、学令期の子供達は就学猶予と言った有様でした。親の会の活動は幼児や児童を受け入れる「たんぼぼ育成園」設立運動を実施、障害者の完全就学の後に、通所作業所「たんぼぼ作業所」設立運動を実施した。



これからの障害者の育成は沢山の情報を集め、子供の年令や障害程度で最適な進路を選択する状況にあります。親の会は多くの障害者団体とネットワークを結び情報の発信基地を目指し、「子供を幸せにしよう！」のスローガンの下で頑張りたいと思います。また、40周年の記念事業に「埼玉県手をつなぐ育成会・県大会」を7月11日（日）深谷市民文化会館で行う幹事を引き受けました。皆様のご支援・ご協力で大会を成功に導きたいと考えています。後ほど、色々なお願いをしたいと思います。宜しくお願いします。

## 生活サポート総合補償制度の補償内容の改定

平成22年4月より補償内容が一部改定されます。細かい説明は添付資料（加入者のみ）をご覧ください。尚、掛金の年額17,000円は変わりません。また、補償内容のうち付添介護保険金(8,000)、差額ベット費用(3,000)、入院諸費用(1,000)、入院一時金(5,000)、ケガによる入院(3,000)は変更ありません。

補償内容（変更項目）	補償金額	変更内容
葬祭費用保険金（弔慰金）	3万円→10万円限度	増額されます
ケガによる通院	1,300円→2,000円	増額されます
ケガによる死亡・後遺障害	300万円→10万円	減額されます
賠償責任	5千万円→1億円	増額されます



平成22年の保険延長は2月に「はがき確認」を行います。継続の場合は「返信せず」をして下さい。

## しくね育成園の通所作業の紹介

2009-10-1付でしくね育成園内に日中系サービス「就労継続支援B型」定員30名で開始された。仕事内容に自主生産品の製作・販売（ハブクラフト、饅頭）、リサイクル作業、環境整備受託作業（外部）、作業所内清掃・整理受託作業（外部）、コンテナ洗浄作業（外部）、漬物加工作業、など実施している。12/末現在、若干定員に余裕があります。また、送迎も実施しています。興味がある方はしくね育成園にお尋ね下さい。

問合せ先 〒366-0810 深谷市宿根1297 TEL0485-572-8830

## いきいき人生☆支援ノートの希望者へ配布



バインダー形式  
A5サイズ 50頁

このノートは、障害を持つご本人の健康や育ち・生活実態・特性等を記録し、ご本人の生涯にわたり、安全・安心な生活を送る事ができるために、ご本人の事を伝えるための引継ぎの手助けに役立てて頂くものです。新たに、医療や地域サービスを受ける際はこのノートを持参し、必要に応じて医師又は学校関係者・サービス提供者見せて下さい。

また、後見人申請やなどにも役立ちます。

当面、親の会理事や障害者団体の関係者でテスト利用頂きます。会員の中で利用したい方に無料で差し上げますので事務局に連絡下さい。 **NPO 法人埼玉成年後見センターいきいきネット発行**

## 今後の予定

県大会準備委員会・毎月1回、メンバーは北部B親の会：各2名  
※深谷メンバー 4名  
幹事長 梶山 實 委員 金子堅太郎、滝上正三、杉山 泉  
(必要に応じてメンバー外でも出席を依頼する事があります)  
※第1回 1月22日(金) 10:00-12:00 深谷公民館

## 配布物

1. 深谷市手をつなぐ親の会通信#27
2. やまびこ 210、211、212、213号
3. 会報「埼サポ2号」他（保険加入者のみ）
4. 第58回全国大会の大会決議文
5. 全日本手をつなぐ育成会速報 No.26